



薬剤部門の革新と その劇的な業務改善

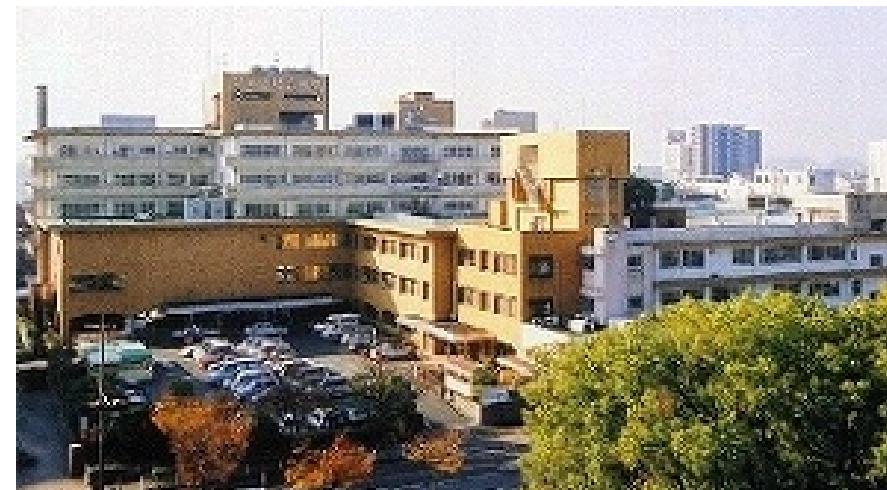
熊本総合病院 チーム薬剤部

藤井憲一郎、藤井裕史、市川康子、濱田政司、上淵未来
山田まゆ子、藤井浩毅、森山彬、塩塚雄基、守田尚史
古田洋一、淵上美穂、大岡健太郎、本田祐子



背景

- 旧八代総合病院では、医師不足などのため、病棟閉鎖を余儀なくされるなど、経営不振。人材の流出が起っていた。



平成17年度

- 薬剤部長退職
- 他ベテラン2名退職
- 薬剤師全9名

平成18年度

- 薬剤部長退職
- 他ベテラン2名退職
- 薬剤師全9名

平成19年度

- 薬剤師全9名
- ほぼ「若手」

平成19年当時の薬剤部内の状況

認定取得数は約10件
長時間残業の常態化。職場内には退職希望の噂。部門風土の悪化。

課題

人材確保（定着）と育成

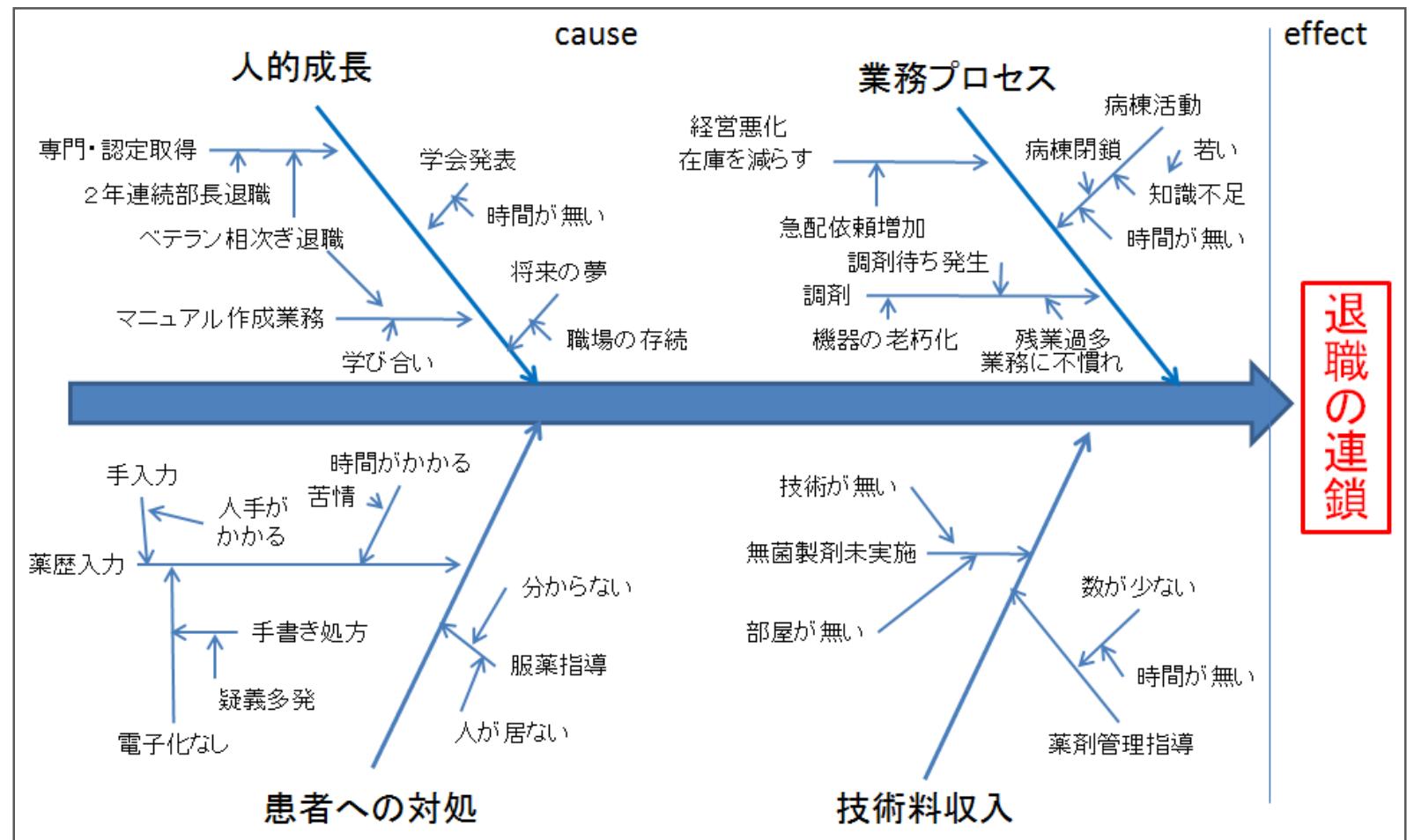
部門収益確保

院内外の部門評価の向上

1.人材確保・育成策

「退職の連鎖」を分析→BSC作成およびマネジメントに生かす

「退職の連鎖」の問題を探りつつ、最終的にBSC(Balanced Scorecard)によって将来展望を示す手順でやってみた。



将来への悲観・不安が最大要因

平成19年のBSC「戦略マップ」

薬剤部 活動戦略マップ

H19/7月

熱意をもって患者・地域のために役立ち、その成果により、県内薬剤師のリーダー的位置を確保、個人も薬剤部も成長すること

財務の視点

薬剤適正使用・標準化による広義のコスト削減の検討

在庫金額の軽

顧客の視点

薬剤管理指導料等収入面の確保

薬剤適正使用による治療効果UP・副作用軽減に貢献

地域ニーズへの貢献
(県・職能団体等)

薬剤使用の標準化・適正化

チーム医療の中で、薬剤師職能を生かす

必要薬剤の確保

業務プロセスの視点

薬品情報(使用法・副作用・エビデンス等)の広報・薬剤適正使用の推進
注射薬(TPN・化学療法剤)の薬剤部での無菌調製に着手
医薬品安全使用のための業務手順書の作成

在庫管理の
適正化

学習と成長の視点

感染分野

癌治療分野

腎と薬物分野

生活習慣病分野

担当病棟
疾患関連

管理業務分野

研修認定薬剤師取得・専門薬剤師取得などに向け研修

薬剤師の「技術者」としての技量を磨く

将来の姿を
可視化
道筋を示す

8年の成果：認定69件

薬剤師の資格・認定(平成28年1月現在)

()内の数字は人数

【学会認定など】

がん薬物療法認定薬剤師(1)
緩和薬物療法認定薬剤師(3)
栄養サポート専門療法士(2)
感染制御専門薬剤師(1)
感染制御認定薬剤師(1)
抗菌化学療法認定薬剤師(1)
日本糖尿病療養指導士(3)
小児薬物療法認定薬剤師(1)
漢方薬・生薬認定薬剤師(1)
禁煙支援士(1)
衛生検査技師(1)

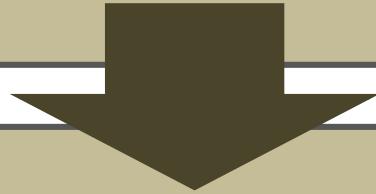
【薬剤師関連団体等の認定】

実務実習指導薬剤師(3)
公認スポーツファーマシスト(6)
日本医療薬学会認定薬剤師(1)
薬剤師研修センター認定薬剤師 (9)
JPALSレベル5認定 (6)
日病薬生涯研修履修認定薬剤師(10)
日病薬生涯研修認定薬剤師 (13)
医療環境管理士(4)
熊本県薬剤師会災害薬事コーディネーター(1)

これらを院内外に広報し、学会発表、研究会参加等を積極的に展開した。

県内トップクラスの数字となった

2.部門収益確保



医薬品情報管理室の強化



情報支援



院内抗菌薬使用の手引き
(深在性真菌症含む)

(2013年 - 第02版:1月)

ご意見・お問い合わせ先:薬劑管理センター 医薬品情報管理室
(藤井・市川)

【重要な御注意】
あくまで院内使用の目的で制作しておりますので、商品名等も当該採用薬名と
なっております。記述内容につきましては、あくまで薬劑部発・院内向けであることを
御承知おき下さい。

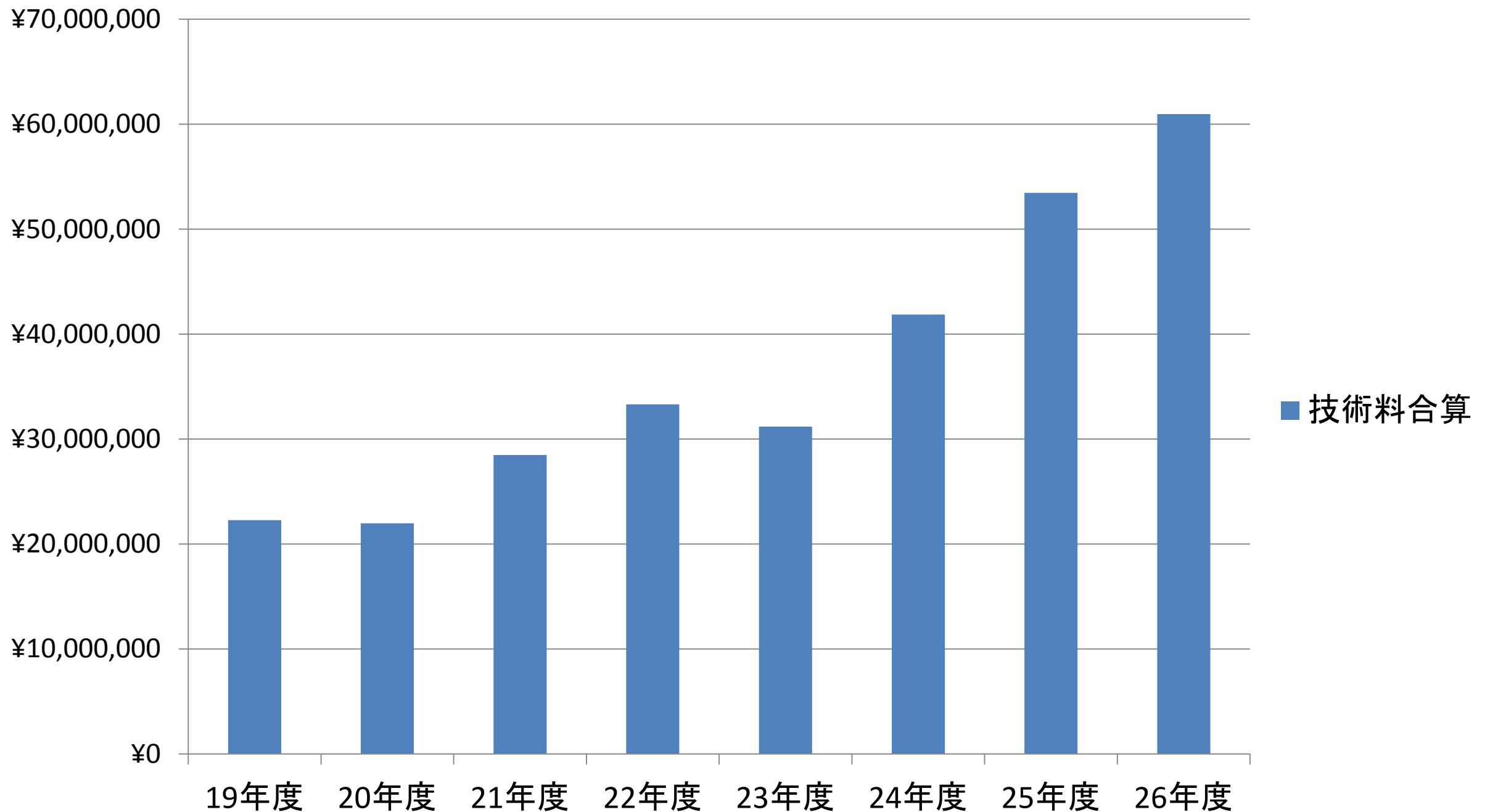
健康保険 熊本総合病院 薬劑部

情報整理・広報・共有で、業務の効率化・チーム医療の深化から、服薬指導の件数増加などを目指す

電子カルテ上のHP開設
各種コンテンツは大項目だけで30を超える
手引書等作成・掲載
各種マニュアル・手順書などを完備

薬剤師技術料収入推移

薬剤管理指導、病棟薬剤業務加算、無菌製剤処理加算、がん患者指導管理料



成果：2000万円/年→6000万円/年を突破

3.院内外の評価の確保

- 日本薬剤師会薬価基準収載品目検討委員
- 日本緩和医療薬学会評議員
- 日本緩和医療薬学会試験問題作成委員
- 九州山口感染制御専門薬剤師連絡会議 世話人
- 熊本県薬剤師会副会長
- 熊本県薬剤師会代議員
- 熊本県体育協会スポーツ医科学専門委員
- 熊本県公認スポーツファーマシスト活動推進担当者
- 熊本県薬剤師会災害薬事コーディネーター
- 熊本県腎と薬剤研究会 評議員
- 熊本県感染対策研究会 世話人
- 熊本県病院薬剤師会感染対策研究会 世話人
- 熊本県病院薬剤師会オンコロジー研究会 世話人
- 熊本県病院薬剤師会糖尿病療法研究会 世話人
- 熊本県TDM研究会幹事

八代薬剤師会副会長
八代薬剤師会理事
八代薬薬連携懇話会世話人
八代緩和ケア研究会世話人
八代NST研究会世話人

専門認定等を生かす

地元の研修会・講演において、講師・座長・企画などの役割で「一肌脱ぐ」、地域への露出を多くした結果、日本、九州、熊本、八代でリーダーとして活躍する場が提供された

9名で20件：当初の目的達成

まとめ

- BSC等のオーソドックスな手法と、業務の簡素化・標準化の司令塔の整備、スタッフ個々の存在感の醸成は、人材の持続的な成長と確保、業務意欲の向上が実現され、薬剤管理指導収入等の確保及び地域活動の充実に有用であった。

CONVICTIONS-What We Believe-

—— 私たちの信念 ——

医療とともに、公に一肌脱ぎます

We Devote All Enthusiasm to Contribute to the National Prosperity
by Providing not only Highly Advanced Medical Service
but also Various Community-Based Services.

今後とも努力して参りたい

